

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
B学共220	[火5]文講215	100	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	火5	国際地域創造学部国際地域創造学科
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
g00064002	経済地理学	2	
担当教員[ローマ字表記]			
宮内 久光			

授業の形態

講義

アクティブラーニング

授業内容と方法

地理学研究には「地理的見方・考え方」を踏まえることが重要である。学習指導要領解説によると、地理的な見方の基本として「どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか、諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりでとらえ、地理的事象として見いだすこと。また、こうした地理的事象にはどのような空間的な規則性や傾向性があるのか、地理的事象を距離や空間的な配置に留意してとらえること。」としている。これを踏まえ、本講義では農業、工業、サービス業、都市の内部構造に関する空間的な規則性や傾向性について、古典的な立地理論や空間理論を紹介し、それが近代期や現代の日本や沖縄、国外の状況に理論が適合できるのか、講義と実技を通して検討するものである。そしてこの講義を通して、受講生は「地理的見方」や「地理的考え方」が身に付くと期待される。

授業方法は対面による講義形式である。

URGCC学習教育目標

情報リテラシー、専門性

達成目標

- ①産業の立地について古典的理論を理解する(知識・理解)。
- ②古典的理論を用いて、現代の産業立地がどの程度適合するのかを論理的に考えることができる（思考・判断）。
- ③産業の立地に関心を持ち、授業中に考えたことを発表することができる（関心・意欲）。
- ④都市の内部構造について諸理論を理解し、指定された都市の内部構造を分析・解明することができる（技能・表現）。

以上の達成目標に到達することにより、人文地理学の基本が身に付き、地理歴史人類学士プログラムの教育目標である

- (1) 地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料（フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等）を正確に理解し、そこから課題を発見する能力
 - (2) 上記の諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、課題を解決する能力
 - (3) 調査研究の成果を論文や報告にまとめ、地域社会・国際社会に向けて発信する能力
- の基礎が形成される。

評価基準と評価方法

評価の前提（全て満たしたうえで評価する）

- ・10回以上の授業に出席すること（代替課題出席を含む）
- ・居住者名簿のテキスト化または移民資料に関する課題（10時間程度）を提出すること

評価の方法

- ・達成目標の①～③の達成度をみるために、毎時間の確認テストを行う（90点、6点×15回）。
- ・達成目標の④の達成度をみるために、自分が作成した居住者DBまたは移民資料に関するレポートをまとめる（10点）。
- ・その他、授業に関して特別な行為をした場合（内容により加点、減点）。

授業を「教育実習・介護等体験（出席扱い）」「コロナ欠席（出席扱い）」「やむをえない欠席（欠席扱い）」「その他の欠席（欠席扱い）」をする場合は、代替課題を提出することで確認テストに変えることができる。確認テストは授業内の作業課題に変えることがある。代替課題は次のA～Cの中から1つ選んでください。

A課題・・・「経済地理学年報」に掲載された論文を読んで、内容の要約をしたうえで、コメントを500字以上で書く。（2回まで）
B課題・・・移民研究センター（文総602-2）に来て、居住者名簿のテキスト化作業などを60分間行う。

減点について

- ・居住者名簿のテキスト化課題（10時間程度）を期日までに提出しない場合
- ・作成したテキスト化課題に間違いが多い場合
- ・授業中、周りに迷惑をかける行為をしている場合。

■ 履修条件

特になし

■ 授業計画

- 1週目、オリエンテーション 立地論とは。
- 2週目、チューネンの農業立地論の概要を論じる①。
- 3週目、チューネンの農業立地論の概要を論じる②。
- 4週目、チューネン理論の意義と日本や沖縄の農業の現状を検討する。
- 5週目、ウェーバーの工業立地論の概要を論じる①。
- 6週目、ウェーバーの工業立地論の概要を論じる②。
- 7週目、ウェーバーの工業立地論を輸送費と労働費の両面から適用事例を考察する。
- 8週目、現代日本および沖縄県における各産業の工場立地をウェーバーの工業立地論から検討する。
- 9週目、沖縄県におけるコールセンターの立地
- 10週目、都市の起源と概念
- 11週目、都市の景観と機能
- 12週目、都市の内部構造
- 13週目、ハワードの田園都市構想
- 14週目、インナーシティ問題とジェントリフィケーション
- 15週目、近代期の海外都市の空間構造
- 16週目、評価の確認

※内容や進路については、状況に応じて変更する場合があります。

■ 事前学習

授業前にはシラバスをもとに、参考書などで予習をしておいてください。

■ 事後学習

授業後は配布プリントをもとに授業の内容を整理するなど復習を行ってください。

■ 教科書にかかわる情報

■ 教科書全体備考

特になし。

■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	地域と産業	ISBN	4562091088	備考
	著者名	富田和暁			
	出版社	原書房	出版年	2006	

■ 参考書全体備考

 使用言語

日本語

 メッセージ

特になし。

 オフィスアワー

水曜日12時～12時15分 研究室

 メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

 URL